

発行:江東区・大島六丁目団地
防災対策委員会
電話 03(3636) 6470

3月11日午後2時46分

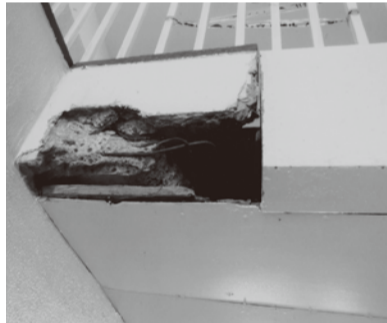
M9.0 東日本大震災 発生!

大地震にどう備えたらいいか? その時あなたはどうしますか?

六丁目団地の被害状況(一部)



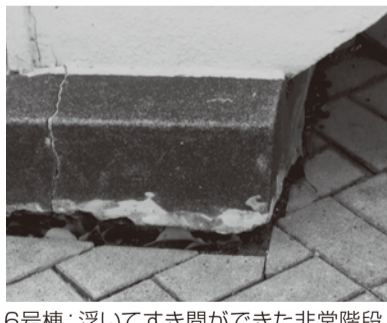
6号棟南北の渡り廊下:はがれた天井



6号棟南北の渡り廊下:脱落した梁



1号棟:陥没して浮き上がったタイル



6号棟:浮いてすき間ができた非常階段

3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0、最大震度7の東日本大震災が発生した。大津波の被害も合わせて、死者1万4704人、行方不明1万0969人、避難者12万6372人(警察庁調べ:5月1日現在)にも及ぶ甚大な被害となり、福島原発の事故を含め、今般被害は拡大し続けている。

東京都部では、震度5強の揺れにより交通機関は全て止まり、道路は帰宅難民であふれ、公立小学校、公共施設等(近隣では第一大島小学校)が帰宅難民にも開放された。

江東区では、新木場、漣橋、辰巳橋、東陽、豊洲、辰巳等で液状化の被害があった。公道等の段差・亀裂23ヶ所、避難所の被災者受入状況は、最大71施設、2122人だった。

六丁目団地では、六丁目団地の被害状況は、

六丁目団地では

建物等は、外階段破損(1号棟・2号棟・6号棟北)、敷きレンガ隆起・沈下(全号棟)、給排水場亀裂(1号棟・2号棟)、6号棟南北渡り廊下破損、ドア枠外の亀裂(6号棟)エレベーター停止(全号棟)、ガス供給停止(全号棟)だった。

居住室内の被害は、①蛍光灯が落下②液晶テレビ・パソコンが転落③本棚・茶たんすが転倒④食器が飛出し壊れた⑤冷蔵庫の中身が散乱した⑥風呂の水が溢れた⑦洗面所・トイレが水浸しになった等々だった。

居住者の避難状況

エレベーターが止まったため階段を使つての避難だった。午後3時には、中央広場に約70名の居住者が集まっていた。3号棟集会所を一時待機場所として開放した。また、車椅子の障害者を階上に運ぶ助け合いが見られた。玄関の下駄箱が

倒れ、ドアが開かない所ではJ Sの職員が救助した。

午後6時頃、希望者の約30名を第四大島小学校避難所へ誘導した。午後10時頃には、第四大島小学校避難所に地域の方々も含め約150名程が避難し、同小PTA役員による炊出しが行われた。一部の方は宿泊し、翌朝解散した。二天小、二大中も避難所として開放された。

UR都市機構の対応

東住宅管理センターは、錦糸町の事務所が被害にあったため、災害対策本部を大島六丁目団地内に移動設置し、避難者のために午後4時頃、3号棟集会所を開放。エレベーター停止の表示及び「節電上の注意」を各号棟エレベーターに掲示した。

自治会の課題と今後

今回の体験から主に以下の課題と自治会としての対応に関する指摘があった。

①被災地への義援金等自治会による支援活動②発災時(震度5強レベル)の災害対策本部

東日本大震災 義援金 報告

自治会で受け付けた義援金は、3月23日で約**40万円**になりました。中止したバスツアーの費用**30万円**と合わせて合計約**70万円**を江東区に届けます。ご協力有難うございました。

9月25日(日)に実施します
今から予定して、必ず参加しましょう!

今年の総合防災訓練は

六丁目団地では、六丁目団地の被害状況は、

六丁目団地 災害協力隊 隊員の報告

1

今まで経験したことのない揺れ、ドアまでにたどり着くのは容易ではなかった。

廊下に出ると不安な顔で2〜3人でかたまっている。コートを着て荷物を持ち、しやがみこんでいる人もいた。

13階の1さん宅へ行くと、空のタンスが倒れたが無事とのこと。身内の方に連絡。その後、民生委員の上野さんと高齢者の方の安否確認に歩く。

上階では、非常扉やガスメーターの扉がバタバタと音を立て不気味で、廊下に止めてあった自転車や物が倒れて

いた。

今回の地震は昼間であったが、夜、真っ暗な中で避難するのに、廊下に置いてあるのは非常に危険である。

神戸で地震に遭った経験のある視力障害の母が居たら、おんぶして逃げるしかなかったらう。

電話が通じず、災害時伝言ダイヤルに登録したが、活用はされなかった。

宮城の友人の安否確認がとれたあと、宅配便ストップの中「郵便局のレターパック」に食料を入れて送ったが、一番喜ばれたのは、おしほりウエストティッシュの大判サイズであった。

救援救護部 辻俊子

六丁目団地
災害協力隊
隊員の報告

2

東日本大震災、その時とその後の大島六丁目団地の様子

◆3月11日午後2時46分宮城県北部三陸沖を震源とするM9.0震度5強(江東区)
◆3月11日午後3時15分茨城県沖を震源とするM7.4震度5弱(江東区)

●発生時

私は自宅、妻は外出中でした。まず下からゴンゴンと突き上げるような振動の後、徐々に大きく揺れ始め、風呂場と水槽から水があふれ出ていました。あまり経験したことないほどの揺れに驚きましたが、すぐに玄関を開け、隣近所の方の無事を確認し、水槽の近くのコンセントを抜き、自宅の中の被害状況を確認しましたが、物

が落ちたり倒れたりという問題ありませんでした。

●二階へ移動

防災服に着替えてから、エレベーターは危険と判断し、北側の階段に向かうと、上階から、車椅子を持った娘さん、座り込むような形で降りてくるお母さん、小学生ぐらいの子と母親と合流しました。お母さんは足がお悪いということなので、まず私がおぶろうとしましたが、怖がられるので、私が車椅子を持ち、娘さんが後から見守るようにして一階まで降りました。

皆さんどこに行けばいいか判らないのことでしたので、一緒に中央公園に向かいました。
6、7号棟からも避難してくる方がおり、4号棟前の中央広場にはすでに50名ほどの方が集まっていたのですが、どうしたらよいか迷っているようでした。

先ほどの車椅子の親娘に、ここなら安全だし、何かあったら自治会も近いからと伝え、中央広場内に怪我をされた方がいないか確認しているとところへ、2回目の大きな揺れが来ました。

怖がるお子さんや、外国からの居住者の方々に、大丈夫です、大丈夫ですからと声をかけ、中央広場内は落ち着いてきたようなので、状況判断をするため、団地内を一周しました。

●中央広場以外に避難して来た方が集まっていた場所
松坂屋ストア(ピーコック)前の広場には大島7丁目から来た方など約30名ほどが1、2号棟の下のベンチや藤棚のベンチ、広場の回りにいらつしやいました。また、7号棟前の公園には亀戸から来た方を含め20名ほどが座り込んでいました。

●とにかく多くの方に声をかける

皆さん不安そうな顔をされていましたが、江東区災害協力隊と、自治会の腕章をつけて、「皆さん、まずは落ち着きましょう、怪我された方はいらつしやいませんか」と声をかけると、多少は安心されたのか、何人かずつが集まり始め、次第に落ち着きを取り戻したようです。

皆さん不安そうな顔をされていましたが、江東区災害協力隊と、自治会の腕章をつけて、「皆さん、まずは落ち着きましょう、怪我された方はいらつしやいませんか」と声をかけると、多少は安心されたのか、何人かずつが集まり始め、次第に落ち着きを取り戻したようです。

●災害協力隊の齊藤副隊長と合流

携帯電話がまったく使えず、とにかく団地内を歩き回り、声をかけ続け、次にどうするか考えていたところへ齊藤副隊長と合流でき、交番のおまわりさんも巡回してくれるということなので、二手に分かれ建物の被害状況を確認しました。

●反省と要望
私自身、少しあわてて外出したので、ラジオを持っておらず、震源地や大きさを聞かれても答えられなかったのが一番の反省です。ほかの地

域や、二次災害、交通機関の運転状況を把握する上でも必要でした。また、中央広場にもラジオがあれば、皆さんも各自で判断がすばやくできたかなと思います。

それとマイクがあれば、皆さんへの注意事項なども聞いていただけたのかなと思います。

あとは、団地内にはばらばらに集まっていたら、二箇所にお集まりいただくか考えてしまいました。

そんな中、多くの方が避難し、小中学校から帰宅する児童もいるところへ、バイクで走り抜けようとする人が3名ほどいたので、目の前に立ちふさがり停止させて、非常時なのだから、押しにくいようにすこし強く要請しました。

この件に関しては、非常時は団地内通行禁止などを決めておく必要があると思います。救援救護部 三浦雅生

5号棟1階ピロティの北側に、新しい防災倉庫ができました。

6号棟南1階ピロティにあった防災倉庫と合わせて、発電機、投光器、炊出し用具一式、リヤカー、テントが2組使用できるようになりました。

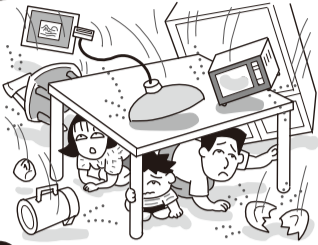
2つ目の防災倉庫ができました

5号棟1階ピロティの北側に、新しい防災倉庫ができました。6号棟南1階ピロティにあった防災倉庫と合わせて、発電機、投光器、炊出し用具一式、リヤカー、テントが2組使用できるようになりました。



震度5以上の地震が来たら! 避難マニュアル

1 安全な場所で自分の身をまもる



普段から自宅の中の安全な場所を決めておきましょう

2 揺れが収まったら、火の始末!

ガス台の火が消えているか確認し、玄関ドアを開けておきましょう。揺れで歪んでドアが開かなくなって外に出られなくなる事があります。

※自分と家族の安全を確認できたら、隣近所の方に声を掛けて無事を確認しあいましょう。

3 避難するときは...

- ①避難指示が出たとき
- ②自棟が倒壊または余震等で居室が危険なとき
- ③ライフラインが止まり自室での生活が困難なときは避難しましょう。

4 避難前のチェックポイント

- ①火の元を確認する
- ②電気器具のコンセントを抜き、ガスの元栓やブレーカーを切る
- ③携帯ラジオや懐中電灯など非常時持ち出し品を持って出る
- ④ヘルメットや防災頭巾、底の厚い靴をはく
- ⑤外出中の家族のために連絡メモを置く



5 避難のしかた

- ①同じフロアの高齢者、病人等、援護の必要な方に声をかけ、一緒に避難する
- ②エレベーターを使わず、階段で避難する
- ③中央広場に集合し、六丁目団地災害協力隊本部又は隊員の指示にしたがって行動する
- ④指示に従い、避難所の四大小に移動する



6 津波警報が出たとき

津波警報が出たときは、外に出ず各号棟3階以上に上がり待機する。大津波警報が出たときは、6階以上に上がり待機する。大島地区は低地帯なので、安全な高さの場所に避難する。



自治会防災備蓄品

食料	アルファ米	100食(在庫数)
	アルファ米	600食(購入決定)
水	保存パン	600個(購入決定)
	飲料水2ℓ	30本(在庫数)
トイレ	5年保存水1.6ℓ	1000本(購入決定)
	簡易トイレ(組み立て式)4セット	(購入決定)
	凝固剤	700回分(在庫数)